

平成27年度 地方文化事業支援について

JR東日本は、鉄道文化をとおした社会貢献を目的に公益財団法人東日本鉄道文化財団を設立し、事業の一環として、平成5年度より地方文化事業支援を行っております。

平成27年度は、選考委員会での審議の結果20件の支援事業が承認され、水戸支社管内の事業としては、茨城県常陸太田市の「西山荘整備活用事業」及び茨城県龍ヶ崎市の「明治の近代化遺産赤レンガ保存・赤レンガ門柱移築事業」に対して継続支援を行います。貴重な文化財をいかし、駅からハイキング等で地域の発展のために活動してまいります。

1 地方文化事業支援について

JR東日本では公益財団法人東日本鉄道文化財団をとおして、平成5年度より地方文化の振興を目指し、JR東日本管内各地の貴重な文化遺産や伝統芸能などの保全と継承、地域の発展のために、資金援助という形で地方文化事業の支援を行っております。平成27年度末までの支援事業の合計件数は144件になります。

2 平成27年度の水戸支社エリアの支援事業について

(1) 「西山荘整備活用事業」(継続2回目)【常陸太田市】

① 支援内容：

県指定史跡西山荘は、水戸藩第2代藩主徳川光圀が藩主を辞した10年間に過ぎた隠居所で、自然の地形を活かした池と築山、滝が配置された庭園とそれらを望む茅葺屋根の質素な御殿などからなっている。

東日本大震災の被害により建物は半解体工事を実施し、平成26年12月末に修復工事が完了した。所有者である公益財団法人徳川ミュージアムにより一般公開が行われており、昨年は年間約4万人が訪れる常陸太田市有数の観光地である。

平成27年度は、西山荘の保護保存を図るとともに、景観の維持向上、交流人口の増加と地域の活性化を目指すため、西山荘地内の修景整備を目的として、経年劣化が進む通用門の修復工事を実施する。

② 支援金額：285万円

③ これまでの取り組み：駅からハイキング実施

平成26年度 100名(晴)、平成25年度 44名(曇)



【通用門】



【通用門経年劣化した茅葺屋根】

(2)「明治の近代化遺産赤レンガ保存・赤レンガ門柱の移築事業」(継続2回目)【龍ヶ崎市】

① 支援内容

諸岡邸の赤レンガ門・塀は、明治期に近代建築として煉瓦造りが全国的に広がりを持った頃建設されたものであり、関東鉄道竜ヶ崎駅の近くで、100年近く市民に親しまれてきた。

平成18年に所有者の都合により解体の危機にあったが、地域遺産として保存し、後世に遺そうという市民の声で「赤レンガ保存実行委員会」が発足し、現地より一旦避難的に撤去して保管し移築保存を目指した。

復元された東京駅や世界遺産登録された富岡製糸場など、赤レンガ遺産が注目される中、龍ヶ崎市の赤レンガ門・塀も移築保存により、観光流動の増加、地域活性化を目指し、平成26年度の門柱移築工事に続き、塀の移築工事を実施する。

② 支援金額 215万円

③ これまでの取り組み：駅からハイキング実施

平成25年度 544名(晴)、平成24年度 133名(雨)



【赤レンガ門柱移築事業】



【移築後のイメージ】

3 水戸支社エリアのこれまでの支援事業について

水戸支社エリアでは平成6年度から平成26年度までに9件の事業に対して支援を行っております。

【地方文化事業支援助成一覧】

事業名	期間	自治体名	支援金額
今甦る常陸国風土記	平成6年度～8年度	石岡市ほか	500万円×3年間
西金砂神社大田楽の復元・執行	平成12年度～14年度	常陸太田市	500万円×3年間
西塩子の回り舞台と組立技術・地芝居等修得・育成	平成16年度～18年度	常陸大宮市	500万円×2年間 402.5万円×1年間
日立風流物の保存伝承事業	平成19年度～21年度	日立市	500万円×3年間
常府いしおかの歴史的建造物等保存事業	平成22年度～23年度	石岡市	350万円×1年間 150万円×1年間
水戸黄門のみち整備事業	平成23年度～25年度	常陸太田市	350万円×3年間
相馬野馬追祭場地施設修繕整備事業	平成24年度～25年度	南相馬市	250万円×2年間
西山荘整備活用事業	平成26年度～	常陸太田市	350万円
明治の近代化遺産赤レンガ保存・赤レンガ塀の移築事業	平成26年度～	龍ヶ崎市	178万円

※『西山荘整備活用事業』および『明治の近代化遺産赤レンガ保存・赤レンガ塀の移築事業』の事業支援承認書贈呈式については、決まり次第別途お知らせいたします。